

KANA GAWA ARTS PRESSES

10 & 11 2015

神奈川芸術プレス Vol.126
ラサール石井
CREATOR'S
VOICE 145

CREATOR'S VOICE 145

ラサール石井

ミュージカル『HEADS UP!』原案・作詞・演出

第22回神奈川国際芸術フェスティバル 開幕間近!

KAATの本気が伝わってくる! KAAT Dance Series 2015

記者会見レポート

現代美術作家 鴻池朋子 バレリーナ 森下洋子

表紙撮影: 福里幸夫

奇数月15日発行 [隔月刊]

その日のお客さんが
その日の芝居を作っていく。
芝居の参加者だという気持ちで
観ていただけたら嬉しいです。



スタッフが主役のミュージカル

——芝居のバックステージを題材にしたミュージカルを作
ることは念願だったそうですね。

そうですね、10年以上前から言い続けてきました。舞台
の開演中を描いたバックステージものは多くても、本番の前
後に光を当てた作品は意外と見当たらないんですよね。お客
さんからは見えないところで、スタッフの方たちは本番が
始まるまでも、終わった後も、頑張っている。演者とし
てスタッフの皆さんに感謝する気持ちをミュージカルにし
たい、という思いがまずありました。どんな世界であれ、見え
ているものの陰には、必ず見えない力で守ってくれている人
がいる。そんなメッセージを込められたらいいな。でも、
「お芝居が始まるまでと、終わってからを描きたい」と誰に話
しても、「そこにドラマなんてないでしょ？」という反応ばかりで、
そこにこそドラマがあるんですけどね。演出する者とし
ては、何もない素舞台が好きなんです。芝居はその素舞台に
道具などの「仕込み」をし、本番が終わるとみんなで「バラ
シ」(片付け)をして、また素舞台に戻す。素舞台で始まり、
素舞台で終わる芝居をやってみたかったですよね。

——ラサールさんはこれまでにミュージカルの演出を
何本も手がけていらっしゃいますね。ミュージカルへの思
い入れが強いのでしょうか。

僕は早稲田大学のミュージカル研究会出身で、学生時代の
友人が小池修一郎さんと宮本亜門さんなんです。学校も年齢
も違うミュージカル仲間、お互いにミュージカルの道に
進むだろうと思っていたら、僕だけお笑いに行っちゃっ

た(笑)。舞台の演出をするようになってからも仕事は喜劇が
中心だったので、ミュージカルにかかわる機会はなかなか
ありませんでした。でも、回り道をしていつかはミュージカル
をやりたいと思っていたら、徐々にミュージカルを作っ
ている方々との交流も増えていって、「オリジナルの楽曲で、
オリジナルのミュージカルを作りたい」という長年の夢が、
やっと実現します。

——今回は原案と作詞、演出をラサールさんが、脚本は
倉持裕さんが担当されますね。

数年前にテアトル・エコーで、劇場を主役にした芝居を
作ったことがあるんです。劇場にはいろんな人の「気」が満ち
ていて、表方も裏方も、生きている人も亡くなった人も、みん
な等しい価値で存在していると思うんですね。ちょうど新宿
のシアター・トップスが閉館した後で、劇場への思いを芝居
にしました。今回はそのモチーフを下敷きにして、倉持さんに
脚本をお願いしたんです。舞台は地方の劇場。ある老俳優の
引退公演が行われる予定なのに、道具一式を積んだトラッ
クが来ない。さあどうする?というシチュエーションで、後は
自由に書いてください、と。倉持さんはとても優秀な方なの
で、素敵な台本にまとめていただきました。音楽は今まで何
度も一緒にいる玉麻尚一さん。オリジナル・ミュージカル
を数多く作ってきた方ですし、お互いの呼吸が分かっている
ので信頼しています。それには僕が早く歌詞を仕上げない
といけないうんですけどね……。ちょっと焦ってます(笑)。

観る者を高揚させる音楽の力

——ワケありの舞台監督と女優、冴えない演出家を支える

演出助手、大道具や衣裳などの現場スタッフ、制作など、
ひとつの芝居が出来あがるまでの〈仕事図鑑〉にもなっ
ていますね。ミュージカル畑の方から初ミュージカルの方
まで、キャストも多彩な顔ぶれです。

この芝居では演出部のスタッフがまともで、役者や演出
家がちょっと情けないんです。色々なアクシデントがあ
っても何とか芝居を開けて、終わらせる。それをミュージ
カルらしいミュージカルにしたいと思います。まあ哀川翔
さんがジャン・バルジャンのように朗々と歌い上げるわけ
ではないですが、もちろん歌っていただきます。以前、
芝居で共演して苦楽を共にした中川晃教君、元宝塚トップ
スターの大空祐飛さんをはじめ、素敵な方々に集まっ
ていただきました。

——あらためて、ミュージカルの魅力をどのように捉えて
いらっしゃいますか。

嘘の世界を楽しむというのは、非常に知的な作業だ
と思うんです。劇場は夢を見せるところなので、ミュージカル
を食わず嫌いの人も、難しく考えずに騙されに来てもらえ
れば、「急に歌い出す不思議さ」なんてあつという間に感じ
なくなります。ブロードウェイのミュージカルは、1幕が
ちゃんと1時間で終わるんですよ。曲と曲の間はせいぜい
1分くらい。台詞が洗練されているから、芝居の部分が
すごく短いんですね。それが理想です。曲の中でストー
リーが進行し、曲からメッセージが伝わるところがミュージカ
ルの醍醐味。素敵なナンバーがバン!と決まった時の高揚感
は、ストレートプレイにはない魅力です。やっぱり音楽の
力だな。芝居の面白さと音楽の力との相乗効果で、素晴
らしいものに出来ればと思っています。

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース／第22回神奈川国際芸術フェスティバル
ミュージカル『HEADS UP!』

11月13日(金)～23日(月・祝) KAAT神奈川芸術劇場 ホール

【脚本】倉持 裕 【原案・作詞・演出】ラサール石井 【作曲・音楽監督】玉麻 尚一 【振付】川崎 悦子

【出演】京川 翔 相葉 裕樹

橋本 じゅん

青木 さやか 入野 自由

今 拓哉 上原 理生 陰山 泰 芋洗坂係長 岡田 誠 川本 昭彦 井上 珠美 新良 エツ子 MINAMI

大空 祐飛 中川 晃教

全席指定 S10,000円 A8,500円 B6,000円 C4,000円

チケットかながわ

WEB <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> [24時間]

☎0570-015-415(10:00～18:00)

11月18日(水)・20日(金) 13:00=アフタートークあり

詳細・最新情報はWEBで! <http://www.kaat.jp/d/ku>

Twitter @kaatjp facebook KaaT神奈川芸術劇場

ミュージカル『HEADS UP!』
原案・作詞・演出

この秋、KAATから発信するオリジナル・ミュージカル『HEADS UP!』。

タイトルは「上を見ろ!」を意味する舞台用語だ。スポットライトを浴びる役者を

陰で支えるスタッフの存在に光を当てるのは、原案・作詞・演出のラサール石井。

数々の舞台演出を手がけ、ミュージカルをこよなく愛する〈舞台人〉に、作品に賭ける思いを訊いた。

観客も舞台を作る共犯者

— ラサールさんは年間かなりの本数の舞台演出や出演をされていますが、そもそもテアトル・エコー養成所のご出身ですね。今に続く舞台への思いとは？

僕が学生時代には井上ひさしさんがエコーで芝居を書かれていて、僕もすごく影響を受けましたね。それからお笑いに行きましたけど、やっぱり舞台が好きなんです。1年に4、5本ペースでやり続けて20年近くになりますが、でも世の中には僕が舞台をやっていることを知らない方がまだ多いようで(笑)。

僕の原体験は小学校6年生ぐらいで姉に連れて行かれた宝塚でした。それ以来現実にはありえないことが起きる、夢のような世界を作って見せたいという気持ちが大きいんですね。芝居を観た帰りの電車の中でちょっとウキウキするぐらいで、一晩寝たら忘れていただいているんです。大切なのは、お客さんも芝居の共犯者だということ。その日のお客さんがその日の芝居を作っていくので、皆さんも芝居の参加者だという気持ちで観ていただけたら嬉しいなと。そしてこの作品に携わった人や観た人たちが、「またやりたい!」「もう一度観たい!」と思ってくださるような舞台にしたいですね。

わたしの神奈川

以前は大和市に住んでいたのですが、長い間、神奈川県民でした。中でも不思議で面白い町は、やっぱり横浜です。歴史を学ぶと、ただの漁村だった横浜村を、アメリカには「ここが神奈川です」と嘘をついて開港した。つまり嘘をついて生まれた町なんですよ。宿場町の神奈川に外国人が来るとまずい、では横浜を神奈川にしまえ、と。その横浜にどんどん外国人居住地が出来ていった。だから町全体がテーマパークみたいで嘘くさいんですよ。あ、僕は良いイメージで「嘘くさい」と言ってますからね(笑)。外向きの目で作られてきた町だから、町並みも素敵ですよ。

そして実は神奈川とのかかわりがもうひとつ。早大ミュージカル研究会の後輩で、僕の演出でミュージカルに出てくれたのが、現在の黒岩知事なんです。だいたいいつも色敵の役で、あやしく歌って踊っていました(笑)。ミュージカル『ファンタスティックス』のパロディ作品で主人公の少年役をやってもらったこともあります。せっかく彼が県知事になったので、僕も神奈川をエンターテインメントで活性化するお手伝いできたらと思っています。

取材・文:市川安紀／撮影:福里幸夫

演出家
ラサール石井

ラサール いしい

1955年生まれ。大阪出身。

渡辺正行・小宮孝泰とコント赤信号を結成し、1980年花王名人劇場にてテレビデビュー。その後、多くのバラエティ番組に出演し人気を博す。知性派お笑いタレントとしてだけでなく、俳優としても多くの作品に出演し才能を発揮。また、脚本・演出家としても小劇場から商業演劇まで幅広く作品を手掛け、数多くの舞台人からの信頼も厚い。加えて書籍、エッセイの執筆など、その活動は多岐にわたる。

主な演出作品に、「プレイバックpart2 屋上の天使」山口百恵トリビュートミュージカル、舞台版「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、「志村魂」、「帰ってきた浅草パラダイス」、「ベテン・ザ・ベテン」、「オーデュボン」の折り(作:伊坂幸太郎)ほか。

このところダンスのプログラムにも意欲的なKAATだが、秋には特に注目のラインナップが揃っている。

まずはコンテンポラリー・ダンス初期からキテレツな動きと独特な美意識で世界を魅了し続けているカナダのマリー・シュイナール。もうひとつは、伸長著しいブラジルでも幅広い層に人気を博しているデボラ・コルカーである。

まずは、この両者の国を見てほしいのだ。カナダとブラジル。北米大陸と南米大陸なのである。「コンテンポラリー・ダンスといえばヨーロッパ」と思いがちだが、実はひと盛り上がりを超えてしまったヨーロッパより、「それ以外の国」のほうが今では勢いがあつたりするのである。なかでもこの両者は世界各国で引っ張りだこの人気カンパニーだ。あえて安定のヨーロッパではなく、アメリカ大陸の南北端の国からチョイスするあたり、「良いダンスならば、広い視点で積極的に紹介していこう」というKAATの本気が伝わってくるのではないか。

デボラ・コルカー・カンパニー

デボラ・コルカーはとにかく楽しい。前回来日の際には、グルグル回る大きな風車のような装置を使ったダンスで観客を驚かせた。じつはシルク・ド・ソレイユで来日公演していた『オーヴォ!』の演出も彼女だ。しかし今回の『Belle(ベル)』は、動きの魅力はそのままに、全体はグッとアダルトな魅力に溢れた作品になっている。なんといってもジョセフ・ケッセルの小説をルイス・ブニュエルが映画化し、カトリーヌ・ドヌーブが主演した『昼顔(BELLE de JOUR)』がモチーフなのだ。貞淑な妻(しかしマゾヒスティックな妄想にかられている)と、昼間限定の高級娼婦「昼顔」という二つの顔を持つ若く美しいセヴリーヌ。原作はしばしば妄想が現実世界に^{かんじょう}嵌入してくるが、本作でもそうした幻視の魅力に満ちているのである。



カンパニー マリー・シュイナール

マリー・シュイナールは二つの作品を上演する。彼女の魅力をひと言でいうなら、「何者にも似ていない」ということだ。見たことのない動き。いったいどういう理屈でこんな動きが出てくるのか見当もつかない作品の数々は、見る者を無条件にワクワクさせる。『春の祭典』はいわずと知れたストラヴィンスキーの名曲で、曲自体に生命の根源を揺さぶる荒々しい力があるが、シュイナールはまさに最高の相性を見せた。細く尖った小道具が、草にも角にも、はては奇怪な棘だらけの生き物のようにも見えてきたりと、想像力の翼が無辺大に広がっていく。



©Marie Chouinard



©Sylvie-Ann Paré

もうひとつの『アンリ・ミショーのムーヴマン』というタイトルは、画家であり詩人でもあるミショーの詩と絵を収めた著書の題名から取られている。「ムーヴマン」とはズバリ「動き」のこと。舞台上にはミショーのシンプルな絵が投影される。記号、あるいはダンサーの一瞬の姿を捉えて抽象化したようでもある。動きの魅力は強烈で、全方位へ炸裂するシュイナールのダンスの真骨頂といっている。

両者とも過去に来日経験があるが、今回の作品はさらに深く大きくグレードアップされたものだ。しかもセット券だと4,000円もお得だというじゃないの! ヨーロッパ物だけじゃない、世の中には、もっともっと多様で面白いダンスがたくさんある。KAATの本気を、ぜひとも見届けてほしいのである。

(作家・ヤサぐれ舞踊評論家 乗越たかお)

KAAT Dance Series 2015



KAAT神奈川芸術劇場 ホール

カンパニー マリー・シュイナール

『春の祭典』

『アンリ・ミショーのムーヴマン』

10月24日(土) 18:00 25日(日) 15:00

デボラ・コルカー・カンパニー

『Belle(ベル)』

10月31日(土) 17:00

11月1日(日) 15:00

各公演全席指定・税込

前売7,000円 U24(24歳以下)3,500円

セット券10,000円

※U24、セット券はチケットかながわの電話・窓口のみ

(前売のみ・枚数限定)

http://www.kaat.jp(24時間)

☎0570-015-415(10:00~18:00)

KAATの本気が伝わってくる! KAAT Dance Series 2015

WEB予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ ☎0570-015-415(10時~18時)

📍 チケットかながわ 📱 @Ticket_Kanagawa も更新中!

第22回
神奈川国際芸術
フェスティバル

その日、そのとき、その場所で
アートはいつでも「グローバル」

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival> (PC版)



知ってた? かながわ



丹沢・大山エリア

神奈川県の伝統と風土に培われた工芸品や農林水産品などを「かながわの名産100選」からエリアごとにご紹介します。



提供: 神奈川県

「大井町のひょうたん漬け」
ひょうたんによる町おこし団体である「大井町ひょうたん文化推進協議会」が、地元食品メーカーの協力を得て作り上げた、ひょうたんのしば漬けです。食用に開発された小さなひょうたんを、そのままの姿で漬けものにしていきます。
大井町が「ひょうたんの町」として親しまれるようになったのは、昭和45(1970)年、上大井町の構内で、駅員が西日除けにひょうたんを植えたのがきっかけです。以来、大井町はひょうたんまつりの開催などで盛り上がりを見せ、ひょうたんをシンボルとして町おこしができないかという機運が高まりました。「ひょうたん漬け」は大井町ならではのお土産としても愛用されています。

1 秦野市文化会館

年間、さまざまなクラシック音楽公演を開催しています。

10月12日(月・祝) 14:30 大ホール 前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル
ピアノ: 松本和将 ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」/ エルガー: 愛の挨拶/ マスネ: タイスの瞑想曲/ ブラムス(ヨアヒム編): ハンガリー舞曲/ サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン ほか
全席指定 3,500円 お問合せ: ☎0463-81-1211



©藤山紀信

2 厚木市文化会館

11月21日(土) 18:00 / 22日(日) 14:00 小ホール 厚木シアタープロジェクト 第27回
公演劇団扉第54回公演「いとしの唄 ~100days Love~」 作・演出: 横内謙介
出演: 山中崇史 MEGUMI(客演) / 岡森諱 有馬自由 中原三千代 伴美奈子 杉山良一 犬飼淳治 鈴木利典 岩本達郎 新原武 江原由夏 他
全席指定 前売4,200円 当日4,500円 学生3,000円
お問合せ: ☎046-224-9999



撮影: 宮内 扉「いとしの唄」初演(2000年)より

3 丹沢湖

1978(昭和53)年、三保ダム建設により出現した人造湖。自然の環境を大切にしたい美しい湖で、四季折々の自然と、ボート・カヌーやワカサギ釣りなどが楽しめます。紅葉シーズン真っ盛りの11月21日(土)には「西丹沢もみじ祭り」、29日(日)には「丹沢湖マラソン大会」が開催されます。
お問合せ: ☎0465-75-2717



丹沢湖からの富士

4 開成水神雷太鼓保存会

「開成水神雷太鼓保存会」は、1990年に音楽家寺内タケシ氏が、富士山の宝永噴火をテーマにした「開成水神雷太鼓」を創作し、それを末永く保存する目的で結成されました。結成以来、地域を中心とした演奏活動を続けながら、太鼓曲の保存と、後継者の育成を行なっています。現在は、自然や郷土の歴史をモチーフにした創作和太鼓を主に演奏しています。 お問合せ: ☎0465-82-2666(代表: 石井菊義)



その他の神奈川県内文化情報

各公演・展覧会情報は2015年8月10日現在のものであり、内容は変更される場合があります。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

特別演奏会 オーケストラ名曲への招待
〜コルンゴルト、ウィーンからの新たな風〜

ミュンヘン・ザルツブルク・シンフォニーホール
11月30日(月) 19:00

指揮: サッシャ・ゲッツェル
(首席客演指揮者)

ピアノ: ゲルハルト・オピッツ
ブラームス / ピアノ協奏曲第2番
コルンゴルト / シンフォニエッタ作品5

S6,000円 A4,000円 B2,000円 他割引あり
☎045-226-5107(平日10:00~18:00)
<http://www.kanaphil.or.jp/>



ゲルハルト・オピッツ
©Concerto Winderstein

神奈川近代文学館

生誕140年 柳田國男展 日本人を戦慄せしめよ
—「遠野物語」から「海上の道」まで—

日本民俗学の創始者・柳田國男の出発点ともなった原体験から、日本人の源流を考究した最晩年の著「海上の道」へと至る生涯をたどり、詩情に満ちた文章から文学作品としても高く評価される、「遠野物語」ほかの著作の魅力を探り、その現代性を見つめ直します。

10月3日(土)~11月23日(月・祝)

月曜休館(10月12日、11月23日は開館)

9:30~17:00(入館は16:30まで)

一般600円

65歳以上/20歳未満及び学生300円

高校生100円 中学生以下無料

※東日本大震災の被災証明書、被災証明書等の提示で無料

<http://www.kanabun.or.jp/>



神奈川県県民局暮らし県民部文化課

カナガワ リ・古典プロジェクト 2015 in 大山
「大山まうで 舞をどり」

杉原邦生総合演出による祝祭感あふれる
歴史絵巻ショー
11月7日(土) 14:00
大山阿夫利神社能楽殿及び社務局周辺(伊勢原市大山)

KANAGAWA 全国高等学校
ストリートダンスバトル

11月15日(日) 10:00~16:30

日本大通り及び神奈川県庁本庁舎(横浜市中区)

第3回西湘地区アーティスト・イン・レジデンス 制作公開
11月22日(日)~27日(金) すどう美術館(小田原市堀之内)
いずれも入場無料 ☎045-210-3806



杉原邦生(撮影: 堀川高志)

公益財団法人神奈川芸術文化財団賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を設立し、広くみなさまのご寄附・お力添えをいただいております。

賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / アズビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート株式会社 / 株式会社オーチャー / 株式会社勝烈庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社 / 神谷コーポレーション株式会社 / 川本工業株式会社 / かをり商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社キョウエイ装飾 / 株式会社KSP / 株式会社合同通信 / コトキシーティング株式会社 / 株式会社シグマコミュニケーションズ / 株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ / 月島機械株式会社 / 株式会社テレビ神奈川 / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 株式会社日建設計 / 日産自動車株式会社 / 日成工事株式会社 / 日生商工株式会社 / 日総ブレイン株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニックESエンジニアリング株式会社 / 株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル・ニューグランド / 一般社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商會株式会社 / ユニコーン / 株式会社横浜アーティスト / 横浜エレベーター株式会社 / 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 横浜ビルシステム株式会社 / 株式会社ワイヤーソリューションズ

永年個人賛助会員 江田眞子 / 川村恒明 **個人賛助会員** 大島正博 / 岡田博子 / 金子祐子 / 黒瀬博晴 / 橋本尚子 / 本田正男 (匿名: 1社・1名)

協賛・協力 能舞台協賛 ナイス株式会社 **協力** 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎陽軒 / 株式会社東芝 神奈川支店 / 株式会社野毛印刷社 / 野村證券株式会社横浜支店 / 株式会社富士住建 / 三菱地所株式会社 (敬称略 2015年8月4日現在) ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 広報営業課 ☎045-633-3760



第22回 神奈川国際芸術フェスティバル

その日、そのとき、その場所で
アートはいつでも「グローバル」

現代アートからクラシックバレエまで～ 記者会見レポート 鴻池朋子展『根源的暴力』 松山バレエ団『眠れる森の美女』

http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival(PC版)
☎0570-015-415(10:00～18:00)

この秋、神奈川県民ホールで行なわれる2企画について、
「第22回神奈川国際芸術フェスティバル」の記者会見(7月6日都内開催)で語られたアーティストの言葉からご紹介します。

神奈川県民ホールギャラリー 鴻池朋子展『根源的暴力』

県下最大の展示空間を生かして、同時代の作家を紹介する展覧会を行なってきた神奈川県民ホールギャラリー。今年、絵画や大規模なインスタレーションを手がけて注目を集める鴻池朋子の個展が開催されます。題して『根源的暴力』。「なぜ人間は自然を侵犯し文明をつくるのか、その根源的暴力について、ものをつくるたった一人の手から考える」と、鴻池は「作家ステイトメント」に記しています。

「3.11の震災以後、体が解体してしまったようで、前の作品を見ても興味が持たなくなりました。「目に見えない世界と対峙する」ことを迫られたこともあり、この2、3年、すべてを一度ゼロに戻して、新しい素材を探していた——そして出会ったのが「革」という素材。自分たちの五感を取り戻すところから、自分の肉体と近いものを考えていったときにたどり着いた素材だったと言います。

今回展示される作品にも革が多く使われています。写真1(タイトル未定)の作品は、牛革をつなぎ合わせたキャンバスを着物に仕立て、そこに滝のような激しい水流が描かれた作品です。そして中央の裂け目から顔をのぞかせるのは、鴻池



写真1

作品の重要なモチーフであるオオカミの毛皮。この作品を前に、忘れていた自然への畏敬の念を呼び起こされるに違いありません。



写真2

最も広い第5展示室に飾られる革製の巨大な緞帳(写真2)をはじめダイナミックな作品が多いなか、一見異質に見えるのが、素焼きにした粘土に彩色した(写真3)の作品。子どもが粘土を握ってなにかを作るように、根源的な行為に立ち戻ることで生まれてきました。

「人間がものをつくり生きていくということは、自然に背く行為であり、根源的な暴力です。この展覧会は、その根源的暴力を正面から見つめ、なぜ人は“つくる”のか、というアートの根本的な問いに、考え、悩む展覧会にしたいと思います」(作家ステイトメントより)

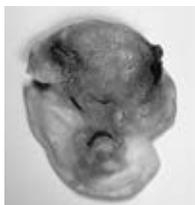


写真3

3.11以後、アートに何ができるか、アートの社会貢献とは何かと問われ続けてきたなかで、「アートは根源的暴力である」という作家の言葉は衝撃的で、かつ重い意味を持ちます。ぜひ、作品を前に、鴻池朋子のメッセージを受け止め、アートの力を考えるきっかけにしていだければと思います。



©青柳聡

神奈川県民ホールギャラリー

鴻池朋子展『根源的暴力』

10月24日(土)～11月28日(土) 10:00～18:00
一般700円 学生・65歳以上500円 高校生以下無料

Art Complex 2015 +トーク 『異界婚姻譚～同じものではられない』

11月21日(土) 19:00 第5展示室
出演:山川冬樹(ホーメイ歌手、アーティスト) 鴻池朋子
監修:村井まや子(神奈川大学教授/おとぎ話、比較文学)

全席自由/入場整理番号つき
一般2,500円
学生(24歳以下)2,000円
10/3(土)発売

※詳細・トークイベント等の関連企画は、随時WEBでお知らせいたします。
※公演当日に限り本チケットで展覧会入場可。

※11/21(土)はアート・コンプレックス開催のため、展覧会は17時で終了いたします。



山川冬樹

松山バレエ団 『眠れる森の美女』



©エー・アイ 撮影:飯島直人

ルドルフ・ヌレエフ演出・振付の『眠れる森の美女』に、この春、同団総代表の清水哲太郎が再構成・演出・振付を加えて7年ぶりに再演され、絶賛を博した舞台が県民ホールに登場します。

今回の舞台について、森下洋子は次のように語りました。

「なぜオーロラ姫が100年の

眠りについたか——それは多くの人の苦しみや悲しみを引き受け、すべてを浄化する祈りの眠りについたのだと思います。そんな姫の善き思いは、豊かな未来をつくろうとする王子との美しい縁をひきよせ平和への道となります。

再構成に際してヌレエフさんの演出は一切変えていませんが、同時に今の時代を意識しながらやっています。近年では3.11があり、色々なことがありました。苦しんでいる方々に夢や希望、ロマンをお見せしたい。生きていることの喜び、感謝を感じていただけるような舞台を作るのが、私たちの仕事だと思っています。」



©青柳聡

創造を支える仕事人 ⑨

KAAT神奈川芸術劇場 プロダクションオフィス
安田武司

KAAT神奈川芸術劇場の舞台技術課は、舞台技術のスペシャリスト集団で、機構、照明、音響チームに加えて「プロダクションオフィス」があることが特徴です。今回の仕事人は、KAAT立ち上げから舞台技術課のメンバーとして関わってきたキーマン、安田武司です。

「プロダクションオフィス」とは、自ら舞台作品を“つくる”劇場であるKAAT独自の部署で、技術的な実務の進行と技術にかかる予算管理を担当するセクションです。中でも舞台スタッフの人員費を含めた(プランナー料を含まない)技術的にかかる費用を管理するのがメインの仕事です。

作品のプランが演出家から上がってきた段階で、それを形にしていくための準備から関わり、公演を実現させるための技術的な進行を行っています。当然のことながら、舞台を作るために必要なお金と時間は

いずれも制限なく使えるわけではありませんから、費用・時間のバランスをとりながら、演出家のやりたいことをどのように実現させるかそれぞれのスタッフとアイデアを練り、工夫を凝らすところに、力量が試される仕事ではないかと思っています。

KAATは演劇ファンにはだいぶ知られてきていますが、「神奈川県の劇場」として地元の方々にも愛されていくために、県内各地をまわる芝居や、「この時期KAATに行けばこれが見られる」というようなレパートリー作品など、ヴァリエティに富んだ公演を作れるといいなと思っています。自分も芝居が好きでこの道に入りましたから、この仕事をしてよかったと思うのは、やはりお客様が楽しんでくださる姿、感動したという声に触れたときです。皆さんの笑顔がたくさん見られる舞台をもっと作れるよう、頑張ります。



もっと、
レビューボイス
近くに。

梅雨の季節のKAAT神奈川芸術劇場で、イプセン劇詩の傑作『ペール・ギュント』が、主演に内博貴を迎え、藤井美菜、加藤和樹、前田美波里ほか20名をこえる充実の出演者により上演されました。実力派キャストとともに、演出に白井晃、翻訳・上演台本を手掛ける谷賢一、音楽・演奏のスガダイロー、振付の小野寺修二らの手により、100年の時を経て現代に生まれ変わりました。ご覧になったお客様の声をお届けします。

白井晃演出『ペール・ギュント』

出演：内博貴

藤井美菜、加藤和樹、前田美波里 ほか

7月11日(土)～7月20日(月・祝) 会場：KAAT神奈川芸術劇場・ホール

No photo

No photo

No photo

今まで観た舞台とは全く違う世界でした。ペールの一生と一緒に感じて、終わった後、何十年も長い間観ていたような気持ちになりました。(20代女性)

美術、照明、衣装、ジャズの生演奏、どれをとってもぜい沢な舞台。久々に演劇の醍醐味を感じました。最初はこの原作を今やるのが不思議でしたが、観て納得。白井さんが描きだした世界が伝わってきます。前田さん、内さんの演技には引き込まれ、脇を固める方達にも目が離せません。(50代)

100年前の舞台を現代にアレンジしてあったのがとても印象的で斬新でした。難しいテーマでしたがテーマについて考えること自体が答えなのかもと思いました。(30代女性)

人生そのものを考えさせられる物語で、自分の人生、自分自身の在り方などを振り返るきっかけになりました。(30代男性)

KAAT竹本駒之助公演 第五弾
かまくらさんだいき 『鎌倉三代記』ハツ目切「三浦別の段」
KAAT竹本駒之助公演、第五弾開催決定!

10月31日(土)～11月1日(日)
15:00
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ
全席自由 4,000円
出演：竹本駒之助(太夫)
鶴澤津賀寿(三味線)



21世紀の『上を向いて歩こう』
Young person's guide to 'Hachidai-san'
中村八大って、どんな人? ジャズと世代を超えて
KAATがお届けする、音楽の実験室。

11月3日(火・祝) 15:00
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
一般4,000円
シルバー(65歳以上)3,500円
U24(24歳以下)2,000円
高校生以下1,000円
出演：大友良英スペシャルバンド
Little Glee Monster
福原美穂
二階堂和美



A New Musical『JAM TOWN!』
ヨコハマが舞台! 演出家・錦織一清が手がける
KAAT発のオリジナルミュージカル!

2016年1月13日(水)～30日(土)
KAAT神奈川芸術劇場・ホール
原案・演出：錦織一清
作詞・作曲：西寺郷太 振付：YOSHIE 作詞：金房実加
原作：斎藤雅文 脚本：斎藤栄作
出演：箕利夫、松浦雅、藤井隆 ほか
発売日：KAme9/14(月)
一般10/17(土)
※先行発売期間中の特別割引料金あり
詳細はWEBにて



もっと、
Information
アートに。

第22回神奈川国際芸術フェスティバル

一柳慧プロデュース FLUX Quartet

現代音楽において注目すべきアンサンブルが初来日!
日本とアメリカの現代音楽プログラムが未知の音楽体験をもたらします!

10月17日(土) 神奈川県民ホール・小ホール
全席指定 一般4,000円 学生(24歳以下)2,500円
出演：トム・チウ(ヴァイオリン)、コンラード・ハリス(ヴァイオリン)
マックス・メンデル(ヴィオラ)
フェリックス・ファン(チェロ)
エリック・ヒューブナー(ピアノ)



ギドン・クレーメル&クレメラータ・バルティカ
“ニュー・シーズンズ”
クレーメルが奏する新しい四季。巨匠クレーメルが手兵
クレメラータ・バルティカを率いてこの秋、再登場します!

10月23日(金)
神奈川県立音楽堂
全席指定 一般7,000円
シルバー(65歳以上)
6,500円(売り切れ)
学生(24歳以下)3,000円
出演：ギドン・クレーメル(ヴァイオリン)
クレメラータ・バルティカ



『室内』

ヨーロッパでの絶賛を経て、待望の凱旋公演! フランスの演出家クロード・レジとSPACとの一つの到達点を五感でお確かめください!

10月2日(金)～4日(日) KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ
全席自由(入場整理番号付) 一般4,100円
シルバー(65歳以上)3,400円 U24(24歳以下)2,000円
主催：SPAC-静岡県舞台芸術センター
演出：クロード・レジ
作：モーリス・メーテルリンク
訳：横山義志 出演：泉陽二、大庭裕介
貴島豪、下総源太郎、鈴木陽代
たきいみき、布施安寿香、松田弘子
弓井菜那、吉植狂一郎 ほか



チケットのお求めは
チケットかながわ

WEB予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

☎ 0570-015-415(10:00～18:00)
窓口(県民ホール 10:00～18:00 / KAAT 10:00～18:00 / 音楽堂 13:00～17:00月休)

f チケットかながわ @Ticket_Kanagawa も更新中!

編集後記

- 神奈川国際フェスのセット券はホール近隣のお店のサービス特典つき。改めて見回すと素敵なお店が沢山。フェスのサイトで見られますので購入者以外の方もこの機会に是非お立ち寄りを。(井)
- マンネリ化しつつある日々の時短料理が、スパイスの活用であっという間においしくなり、レシピも増えてささやかな幸せ。仕事にもこんな魔法のスパイスがあるといいのですが!(あ)
- 先日箱根に行ってきました。朝の誰もいない温泉がとても気持ちよかったです。ただ、若干肌寒かった気が、...8月中旬でしたが、季節の変わり目を感じました。(さ)

神奈川県立音楽堂 ☎0570-015-415
http://www.kanagawa-ongakudo.com/

第22回神奈川県国際芸術フェスティバル
モディリアーニ弦楽四重奏団

11月21日(土) 15:00

すぐにそれとわかる個性をもつ画家・モディリアーニの名をいかに、独創的で斬新な演奏で本国フランスをはじめ、欧米で大人気の若きカルテット。メンバー4人が個性を主張しながら、抜群のテクニックと豊かな音楽性で極上のアンサンブルを聴かせます。選びぬかれたプログラムにもうご期待!

全席指定 一般4,000円 学生(24歳以下)3,000円



黄金町エリアマネジメントセンター

☎045-261-5467
http://www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2015/

黄金町バザール2015—まちとともにあるアート

10月1日(木)~11月3日(火・祝)

「アートによるまちの再生」のテーマのもと、2008年にスタート。8回目の今年は「まちとともにあるアート」をテーマに、アジアを中心に国内外から14組のアーティストを迎えるほか、「まちプロジェクト」と題し、まちづくりの取り組みについても紹介します。



ジョセフ・ガブリエル (INCOGNITARUM FUSCUM) 2014年
写真提供: マリナ・メトロポリタン美術館

入場料: バスポート 前売り300円、当日500円(中学生以下無料)
時間: 11:00 ~ 18:30
休場日: 10/5(月)、10/13(火)、10/19(月)、10/26(月)

シネマ・ジャック&ベティ ☎045-243-9800
http://www.jackandbetty.net/

「愛と哀しみのポレロ デジタル・リマスター版」他、ダンス映画特集

「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015」の関連企画上映として、10/31(土)~ダンス映画特集を開催。「愛と哀しみのポレロ」(クロード・ルルーシュ監督/1981年/フランス映画)はベルリン、モスクワ、パリ、ニューヨークを舞台に、ルドルフ・ヌレエフ(バレエダンサー)、エディット・ピアフ(歌手)、ヘルベルト・フォン・カラヤン(指揮者)、グレン・ミラー(音楽家)といった音楽家たちをモデルにつくられた四家族の物語です。



「愛と哀しみのポレロ」でバレエを踊るジョルジュ・ドン
LES UNS ET LES AUTRES © 1981 Les Films 13 - TF1 Films Productions. All Rights Reserved.



(横浜市在住カメラマン)
森日出夫さんの写真でめぐる
横浜情景

赤レンガ倉庫の創建当時のおもむきを伝える場所。1号館に残された、荷物の上げ下ろしのスロープをガラスで覆った保存階段です。当時は、滑り台のように上階から荷物を滑らせて下ろしていたことがわかります。赤レンガ倉庫が誕生したのは約100年前。1911(明治44)年に2号倉庫が、1913(大正2)年に1号倉庫が建設されました。その後、関東大震災で1号館は半壊。1970年代から取引が少なくなり、1989年、倉庫としての役割を終えました。2002年のリニューアルで横浜港のシンボルとして甦り、1号館のホールでは、ダンスや演劇などの公演が行われています。

MAGCUL.NET
神奈川県発、文化発信ポータルサイト、マクカルドットネット

神奈川県芸術プレスはここにあります。
神奈川県内の主な県施設の情報コーナー、ホール・劇場・文化施設、公立図書館、美術館・博物館、一部の有隣堂・横浜銀行店舗などに配架しております。
発行日から1週間程度で配架されます。神奈川県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場、県立音楽堂の3施設は発行日に配架します。

Kame KANAGAWA members
登録無料! メルマガ定期配信

県内のアート情報はここで探そう!
http://www.kanagawa-at.info/
「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

The 22nd International Arts Festival In Kanagawa

その日、そのとき、その場所で
アートはいつでも「グローバル」

2015.10.17(土)~12.6(日)
神奈川県民ホール KAAT神奈川芸術劇場 神奈川県立音楽堂

http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival (PC版)

一柳慧プロデュース「フラックス・カルテット」/ギドン・クレメール&クレメラータ・バルティカ/松山バレエ団「眠れる森の美女」
カンパニー マリー・シュイナル/デボラ・コルカー・カンパニー「Belle(ベル)」/原案・作詞・演出:ラサール石井 ミュージカル「HEADS UP!」
モディリアーニ弦楽四重奏団/黨敏郎作曲・三島由紀夫原作 オペラ「金閣寺」/鴻池朋子展「根源的暴力」

V01.126(通常130号) 2015年9月15日発行(奇数月15日発行) TEL.045-633-3760 FAX.045-663-3714 発行:神奈川県民ホール【指定管理者:(公財)神奈川芸術文化財団】企画/制作:(公財)神奈川芸術文化財団/【株】ニュー・ミュージックコミュニケーションズ【兼断版・複製】無料配布